

自律分散型無線ネットワークの研究開発（株式会社国際電気通信基礎技術研究所）平成15年度中間評価結果

整理番号	評価	所 見	再評価	再 所 見
13 - 02	A	<p>アドホックネットワークという技術分野を体系的にまとめ上げながら、ネットワーク構成・制御技術、ネットワーク総合理論、パーソナル無線リンク、マイクロデバイスの各サブテーマとも、着実に研究を進めている。外部発表、特許取得などに積極的に取り組んでいることは評価できる。また、本研究のインパクトを最大とするには、トップダウン型のアプローチを含めて4つのサブテーマの有機的な連携を図ることが望ましい。</p> <p>ネットワーク構成・制御理論：現実的には、すべてのアンテナが指向性アンテナとならないようなケースも考えられると良いようにも思われる。</p> <p>ネットワーク総合理論：アプリケーションシナリオを明確にし、重点的に研究開発を進められることを期待する。</p> <p>パーソナル無線リンク：実用化を目指すスタンスと、他のサブテーマとの連携を図るスタンスの両面から研究を進められたい。</p> <p>マイクロデバイス：基礎研究から開発研究に、要素技術からシステム化技術といったフェーズに入りつつあると思われる中での研究の舵取りを期待したい。</p> <p>本研究開発終了後、受託企業内の技術リエゾンセンターを通じてライセンス契約を推進する事業化計画であり、妥当である。技術リエゾンセンターを始めとして受託企業内における事業化のための支援体制は整っていると考えられる。今後事業の受け皿となる提携企業を決めて行く必要がある。事業化にあたっては、研究開発の最終的な成果、提携先の力量、マーケットの状況など幅広い要素に左右されるが、本研究開発課題は、包括的な研究テーマであることから、長期的に成果が適用できる商品・サービスの余地は大きいと考えられる。事業化の観点で、将来の幅広い実用と波及の基盤となる技術を着実に研究開発している面を評価する。</p>		